

# 立体的英語活動モデルの提案と発信

— 幼児レベルの国際交流をめざして —

平成 21 年度『千代田学』事業プロジェクト報告書

大妻女子大学短期大学部英文科

井上 美沙子

守田 美子

池頭 純子

丸山 協子

平成 22 年 3 月

## 目次

0. プロジェクト概要 .....	133
1. 平成 21 年度活動報告 .....	135
1.1 年間英語プログラムの開発 .....	135
1.2 保護者参加型の英語活動、及び保護者の「英語の学び直し」支援 .....	138
1.3 幼児同士による次世代国際交流 .....	139
1.4 一般区民向け講座・講演会等の主催・協賛・後援活動 .....	140
1.5 イベントの記録 .....	140
主催イベント .....	140
協賛イベント .....	140
後援イベント .....	141
その他のイベント .....	142
2. 教育機関と家庭の連携による、次世代育成支援 .....	143
2.1 英語独特の音のリズムを体感する・異質なものを受容し異文化に親しむ .....	143
2.2 社会の基本ルールやマナーを学ぶ・コミュニケーション能力を豊かにする .....	147
2.3 国際的な視野を広げる・世界に目を向ける .....	150
3. 大学と地域の連携による、次世代育成支援 .....	155
3.1 千代田学主催のイベント .....	155
3.2 千代田学協賛イベント .....	156
3.3 千代田学後援イベント .....	158
3.4 その他のイベント .....	162

## 0 プロジェクト概要

## 0. プロジェクト概要

### 事業目的

家庭と区立教育機関と連携して異文化への理解を促すことにより、現代社会での問題の差別やいじめの抑止策として、また希薄化する家族のきずなを強めるための幼児英語活動プログラム及び教材を作成し、区民の子育てを支援するとともに国際人としての素地を養う環境を整えることに貢献することである。

### 調査・研究の手法

#### 1. 年間英語活動プログラムの開発

今年度は千代田区立千代田幼稚園に、年間を通したテーマに基づいて絵本とそれに付随したCDを無償提供し、かつ研究員による年間6回のデモ授業を行った。選ばれた教材は、幼稚園で使用されるだけでなく、家庭にも配布され、園児が保護者や幼稚園教諭、また他の園児たちと一緒に英語の本を読んだり、CDを、一回に要する時間は長くはないが、ほぼ毎日聞くことによって、周囲の人々との絆を深めながら、英語の音やリズム、またそれを通して異文化意識を育成させるように依頼した。その効果は年間2回の保護者懇談会におけるアンケート結果やフィードバック、年度末に実施する園児全員の個人面談によるアセスメントによって調査した。

#### 2. 保護者参加型の英語活動、及び 保護者の「英語の学び直し」支援

昨年度より始めた大妻女子大学人間生活文化研究所の研究プロジェクト「家庭における『異文化意識』育成のための、幼稚園児の保護者を対象とした英語の学び直しプログラム—小学校英語必修化を大学と家庭からサポート」の主催するワークショップや講演会を後援する。来るべき小学校英語必修化を視野に入れて、大妻女子大で年2回ほど区内の幼児保護者を対象として、家庭での英語活動を支援する「英語の学び直し」研修会を行う。研修会は2部構成で、前半は保護者向けのレクチャーと親子で参加する後半のワークショップから成るものとし、どちらも外国人講師が担当し、本学で児童英語教育の授業を履修している本学学生がその手伝いをする。

#### 3. 幼児同士による次世代国際交流

モデル幼稚園の園児たちに、さらに一歩進んだ国際交流体験をしてもらう。具体的には、都内に在住する同年齢程度の外国人幼児との交流会や在日大使館訪問などの企画を実施する。



#### 4. 一般区民向け講座・講演会等の主催・協賛・後援活動

本プロジェクトでは、子育て支援の一環として、家庭での幼児英語活動を支援するために、内外の知識人による講演や国際的イベントを主催・協賛・後援し、一般区民に無料開放することで、地域社会へ貢献する。具体的には平成18年の本プロジェクト発足当時から実施している「千代田学レクチャーシリーズ」を主催する他、大妻女子大学が関わるイベントを協賛することで、これを大妻女子大学の学生や教職員等の関係者のみならず、千代田区民にも参加できるようにしている。

# 1 平成 21 年度活動報告

# 1. 平成 21 年度活動報告

## 1.1 年間英語プログラムの開発

子供を日本以外の国や言語、文化に興味を持たせるという趣旨から、次の3つのテーマを立て、それを元に6冊の絵本を選択し、モデル教育機関に提供した。

### 年間テーマ

1. 英語独特の音のリズムを体感する・異質なものを受容し異文化に親しむ
2. 社会の基本ルールやマナーを学ぶ・コミュニケーション能力を豊かにする
3. 国際的な視野を広げる・世界に目を向ける

年間テーマは基本的に昨年度と同じではあるが、細かい部分で異なる。まずテーマ1では、昨年度までは、英語独特の韻の踏み方やリズムなどをデモ授業の中で取り入れたが、今年度は日本人には苦手な音や日本語にはない音などに着目させるようなプログラムを取り入れた。テーマ2では、昨年度は挨拶やお礼などのマナーを見たが、今年度は物を大切にすることや友情などをテーマに取り上げた。テーマ3では、例えば動物の鳴き声なども国や言語によって違うなどということを学習したりすることにより、世界へ目を向けるような授業を行った。

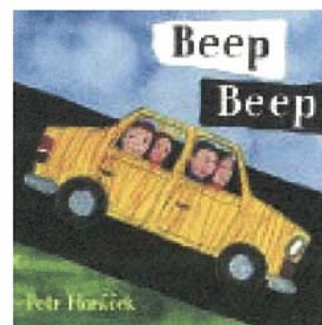
下に示すのは、今年度の年間英語活動記録である。

モデル教育機関： 千代田区立千代田幼稚園（千代田区 神田司町 2-16）

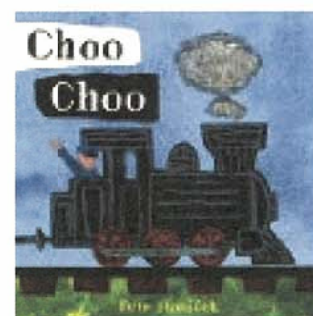
クラス	園児数	協力家庭園児数
4歳児クラス	10名	9名
5歳児クラス	13名	13名

デモ授業と使用教材

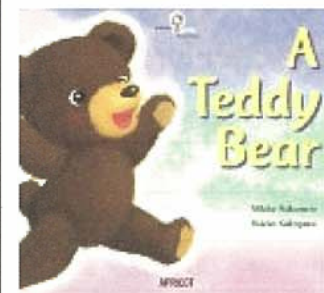
第1回	Petr Horáček, <i>Beep Beep</i> Candlewick Press
日時	平成21年6月10日 9:00 - 9:30
テーマ	英語独特の音のリズムを体感する・異質なものを受容し異文化に親しむ
音声教材の有無	無（オリジナル CD 作成）
使用した補助教材	ホーン、投げ輪用リング



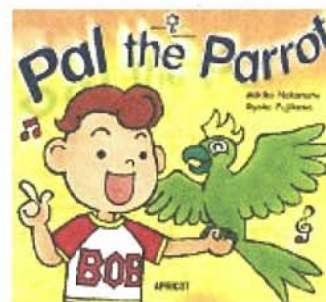
第2回	Petr Horáček, <i>Choo Choo</i> Candlewick Press
日時	平成21年7月8日 9:00 - 9:30
テーマ	英語独特の音のリズムを体感する・異質なものを受容し異文化に親しむ
音声教材の有無	無（オリジナル CD 作成）
使用した補助教材	氣息音発音補助のためのスリップ片



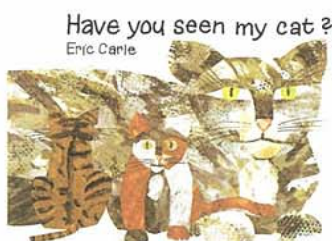
第3回	M. Nakamoto & H. Kakegawa, <i>A Teddy Bear</i> Apricot
日時	平成21年10月28日 9:00 - 9:30
テーマ	社会の基本ルールやマナーを学ぶ・コミュニケーション能力を豊かにする
音声教材の有無	有
使用した補助教材	福笑いのマグネット



第4回	M. Nakamoto & R. Fujikawa, <i>Pal the Parrot</i>
日時	平成21年11月18日 9:00 - 9:30
テーマ	社会の基本ルールやマナーを学ぶ・コミュニケーション能力を豊かにする
音声教材の有無	有
使用した補助教材	本の登場人物のオリジナルペーパーサート人形



第5回	Eric Carl, <i>Have You Seen My Cat?</i> Aladdin Paperbacks
日時	平成21年12月2日 9:00 - 9:30
テーマ	国際的な視野を広げる・世界に目を向ける
音声教材の有無	無 (オリジナル CD 作成)
使用した補助教材	本の登場人物のオリジナルマグネット 世界地図



第6回	Bill Martin, Jr. <i>Brown Bear, Brown Bear, What Do You See?</i> Puffin Books
日時	平成22年1月13日 9:00 - 9:30
テーマ	国際的な視野を広げる・世界に目を向ける
音声教材の有無	有
使用した補助教材	



## 園児アセスメント、保護者懇談会の記録

### 保護者懇談会

第1回 平成21年7月15日 10:50～11:30 於) 千代田区立お茶の水幼稚園

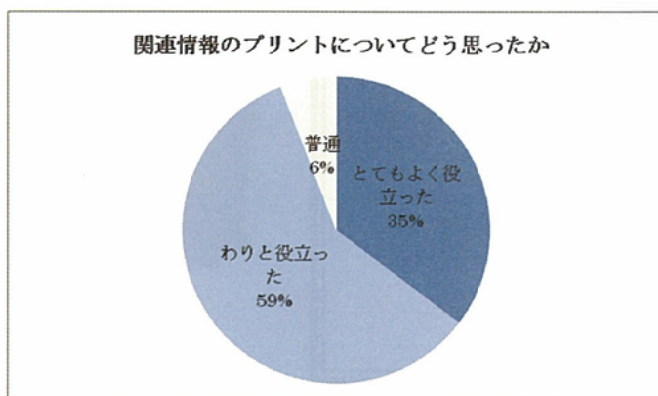
第2回 平成22年1月13日 10:00～10:30 於) 千代田区立お茶の水幼稚園

### 園児アセスメント

平成22年2月10日 9:00～10:00 於) 千代田区立お茶の水幼稚園

## 1.2 保護者参加型の英語活動、及び保護者の「英語の学び直し」支援

前節で述べた、モデル幼稚園での英語活動に関して、保護者より同じ教材が配布されても、どのように家庭で効果的に使用したらいいかわからないといった声に答え、教材配布時に教え方のポイントを述べたプリントをつけるようにした。これには、ストーリーの紹介や気をつけたい発音の指導法や、定型文の使い方といった情報の他、ストーリーから見えてくる、文化の違いといった情報などをわかりやすくまとめた。下に示したアンケートの結果がしめすように、保護者の間では概ね好評であった。(資料は巻末を参照のこと。)



また保護者のコメントにおいても、実際に子供と英語の絵本を読むときの、発音のポイント等がわかって役に立ったという声が多数寄せられた。

また、昨年度より始めた大妻女子大学人間生活文化研究所の研究プロジェクト「家庭における『異文化意識』育成のための、幼稚園児の保護者を対象とした英語の学び直しプログラム—小学校英語必修化を大学と家庭からサポート」と共同して、保護者参加型の英語ワークショップ等を



開き、外国人講師の下、家庭での英語活動を支援する「英語の学び直し」研修会を2回行った。一回目はクリスマス、2回目はイースターをテーマに、日米の文化の違いや、歌や絵本が紹介され、家庭での絵本の読み聞かせやゼスチャーを交えた歌の練習が行われた。



### 1.3 幼児同士による次世代国際交流

本年度は、立体的英語活動と称し、モデル幼稚園の園児たちに、幼稚園や家庭における英語体験だけでなく、さらに一歩進んだ国際交流体験をしてもらうことを考えていた。具体的には、当初、都内に在住する同年齢程度の外国人幼児との交流会を企画しようと考えていたが、セキュリティ等の諸事情もあり、幼稚園児とその保護者による、駐日オランダ王国大使館訪問という形として、実現することになった。



#### 1.4 一般区民向け講座・講演会等の主催・協賛・後援活動

今年度も、子育てをしている一般区民、及び千代田区の在勤在学する人々を対象に一連のイベントを行った。主催イベントとして、例年開催している、千代田学レクチャーシリーズの第6回講演を始め、協賛・講演イベントとして、英国大使館合唱団によるクリスマス・コンサートや、ハンガリーのオルガニストによるパイプオルガン・コンサートなどを行った。詳細なリストは、次節を参照されたい。

#### 1.5 イベントの記録

##### 主催イベント

平成20年10月24日

千代田学レクチャーシリーズ VI

「オランダの今日の教育事情」

講師： 野沢悦子（翻訳家）

場所： 大妻女子大学 A棟 252教室

時間： 10:50 - 11:50



##### 協賛イベント

平成21年12月12日

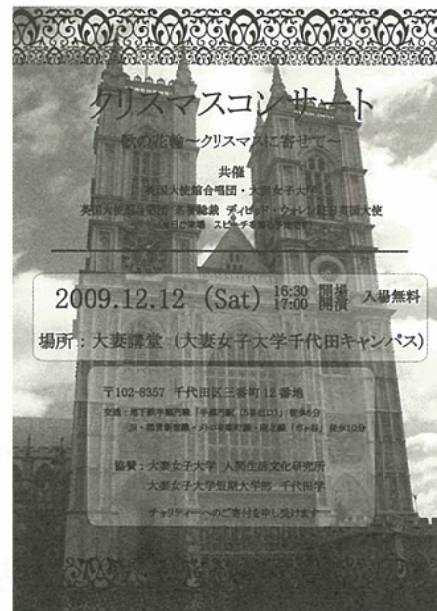
英国大使館合唱団・大妻学院共催

英国大使館合唱団コンサート

「歌の花輪～クリスマスに寄せて～」

場所： 大妻講堂

時間： 18:00 開演





## 後援イベント

平成 21 年 6 月 8 日

大妻学院文化交流事業「ハンガリーの文化とオルガンコンサート」

講師： 児玉麻里 (オルガニスト)  
オルガニスト： パールウール・ヤーノシュ (リスト音楽大学教授)  
場所： 大妻講堂  
時間： 18:30 開演

平成 21 年 11 月 14 日

英語で遊ぼう！ 親子で親しむ英語の絵本と歌

<クリスマス絵本と歌>

講師： フィリッパ・ウッド (英国大使館書記官夫人)  
マーガレット・グラント  
(朝日カルチャーセンター東京 英語講師)

場所： 大妻女子大学 A 棟 357 教室

時間： 13:00 - 14:00



平成 22 年 2 月 27 日

英語で遊ぼう！ 親子で親しむ英語の絵本と歌

<イースターの絵本と歌>

講師： マーガレット・グラント  
(朝日カルチャーセンター東京 英語講師)

場所： 大妻女子大学 A 棟 357 教室

時間： 13:30 - 14:30

## その他のイベント

平成22年2月12日

駐日オランダ王国大使館見学

講師： マリア・クワハラスモルダー

(駐日オランダ王国大使館教育部シニア・ディレクター)

場所： 港区芝公園

時間 10:30 - 11:00

## 2 教育機関と家庭の連携による、 次世代育成支援

## 2. 教育機関と家庭の連携による、次世代育成支援

この節では、本年度に掲げた3つのテーマに従って、どのようにモデル教育機関での英語活動が行われたかについて述べる。

### 2.1 英語独特の音のリズムを体感する・異質なものを受容し異文化に親しむ

6月、7月に行われた、第1回、2回の英語活動がこの「英語独特の音のリズムを体感する・異質なものを受容し異文化に親しむ」というテーマの下に行われた。指導案は次の通りである。

#### 第1回

テーマ	日本語にない音[v]と[b]の聞きわけができる。
表現	Broom, broom, Vroom, Vroom, Chug, chug, Stop, Wheeeee, Beep, beep
英語活動の流れ	<p>名前を呼んで名札をつける</p> <p>Hello, Good morning, How are you?の導入</p> <p>(歌) Good Morning</p> <hr/> <p>絵本の読み聞かせ <i>Beep Beep</i>.</p> <hr/> <p>練習 &lt;導入&gt; 車に乗っておばあちゃん(Grandma)の家に行くよ。車の音はどんなかな?</p> <p>(園児)---ブーン、ブーン、ブッブー、</p> <p>そうだね。英語でなんていうか聞いてみようか。</p> <p>&lt;CDを聞く&gt;</p> <p>&lt;絵本の解説&gt;</p> <p>Broom, broom : 車がゆっくり走る音</p> <p>(ハンドルのようなものを持って実演しながら、交代で)</p> <p>Vroom, vroom : 車が速く走る音 (vの音を意識させる)</p> <p>Chug, chug : ポツ、ポツ、シュツ、シュツ (蒸気機関車)</p> <p>Stop : とまれ (赤の旗をあげさせる)</p> <p>Wheeeee : 坂を下る音 (両手を広げて、走り回る)</p> <p>Beep, beep : ブッブー (ホーンを使って)</p> <hr/> <p>異文化理解</p> <p>言語によって同じ音でも表現が違うことを理解する。</p> <hr/> <p>(歌) Good Bye</p> <p>終わりの挨拶</p>

本年度は昨年度までのお茶の水幼稚園から代わって千代田幼稚園での活動となった。初回は園児が短時間でも多くの英語音声に親しめるよう、園児たちの好きな自動車の擬音がふんだんに登場する絵本を使用した。座って絵本のストーリーを聞くというよりは、自らが自動車になり、様々な音を発しながら活動することにより、英語の音に親しんでいくという活動を行った。一度絵本の読み聞かせを行った後、園にある輪をお借りしてハンドルにし、交替で“Broom, broom”や“Vroom, vroom”（速く走る音）と言いながら走ったり、時折“Beep, beep”とホーンを鳴らしたりする車役の園児を設定し、その車を途中で“Stop”と停止させる役割の園児を設けて絵本のストーリーを再現した。坂道を下るときには両手を広げて“Wheeee”と言いながら走ったりし、目的地に到着したときには“Here we are”と言っておわる、という活動を繰り返し行った。短時間ではあるが、すべての園児が一度は必ず車役になり、他の園児が車役の時にも、一緒に声を出し楽しんでいる様子が観察された。

“Broom”と“Vroom”は、語頭の子音が違うだけで、後者の[v]の音は日本語にはない。日本語にするといずれも「ブルン」となってしまう差異を表現できないが、幼児の敏感な聴覚にこの差を認識させることは、英語の音に対する繊細な感覚を身につけさせるのに有効であると思われる。調音点の違いも指摘して、口の形を示しながら繰り返し指導を行った。短時間であったため、完全に身に着いたとは言い難い。しかしながら、最後に行った“Broom”（遅い車）と“Vroom”（速い車）の聞き分け確認では、わずかな差異に気付き、違いを聞き分けようとする園児も見られた。

本プロジェクトは、家庭に絵本とCDを配布し、継続的に聞くことを意図したものであり、繰り返しCDを聞いて、音を楽しむことで差異の認識が定着することが期待できるのであるが、保護者に対する説明をする機会が不十分であったため、なかなか意図したようには差異の認識が定着しなかったようである。

## 第2回

テーマ	日本語にない音[p <sup>h</sup> ]を聞き分ける。
表現	Choo, choo, Puff, puff, Clack, clack, Rumble rumble
英語活動の流れ	名前を呼んで名札をつける Hello, Good morning, How are you?の導入 (歌) Good Morning
	絵本の読み聞かせ Choo Choo
	練習 <導入> 汽車に乗ってガタゴト、海に遊びに来たよ。 汽車の音は英語でなんていうか聞いてみようか。

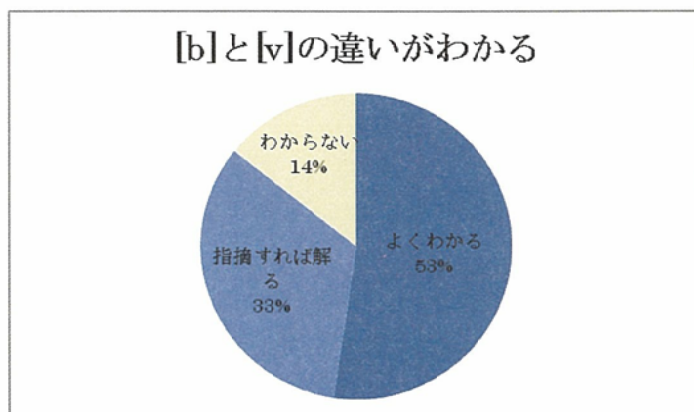
	<CD を聞く> <絵本の解説> Choo, choo :、シュツ、シュツ (蒸気機関車) Puff, puff : ポツ、ポツ (蒸気機関車) 紙片を口の前にかざし、息を強く吹きかけるように[p <sup>h</sup> ]を発音させる。
	異文化理解 日本語の[p]と[p <sup>h</sup> ](氣息音)の違いに気づく
	(歌) Good Bye 終わりの挨拶

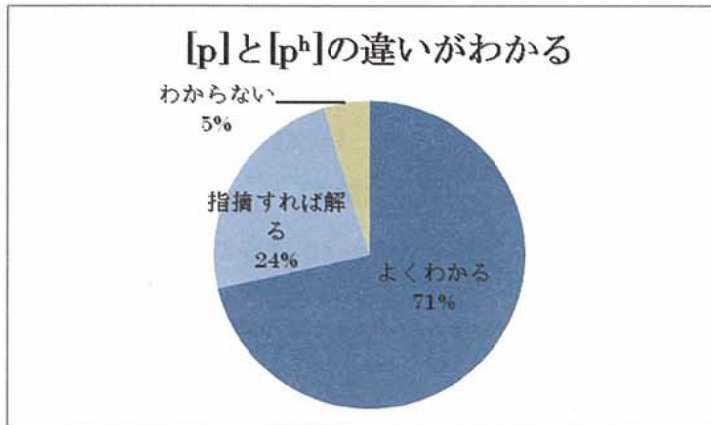
本年度は1学期中の活動は2回であったため、2冊めは1回目と同じシリーズの絵本で、汽車を扱ったものにした。いくつか音のポイントはあるが、特に [p<sup>h</sup>] という、日本語にはない氣息音に注意し、通常よりも強く息を吐いて [p] の音を発音する体験ができるような活動を行った。1回目と同様、交替で汽車になり、蒸気を吐き出す“Puff, puff”という音や汽車が走るときの“Choo, choo”という音を出しながら活動を行った。“Puff, puff”という際に、薄いプラスチックの短冊状のものを園児の口の前にかざし、それを強く吹くように発音させた。なかなか [p] という音の発音と、息を吐くことを同時にできない(息を吐くと「フー」となってしまう)園児もいたが、ほとんどの園児は勢いよく [p<sup>h</sup>] を発音し楽しんでいった。

#### アンケート

以下に、年度末に行われた保護者懇談会におけるアンケートおよび園児を対象としたインタビューの結果を示す。

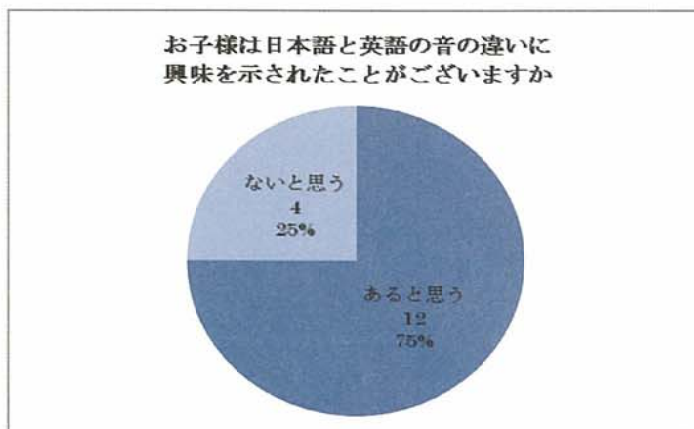
#### <園児インタビュー>

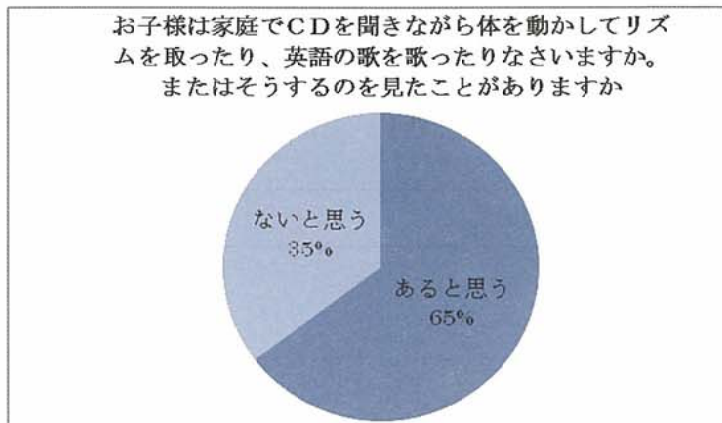
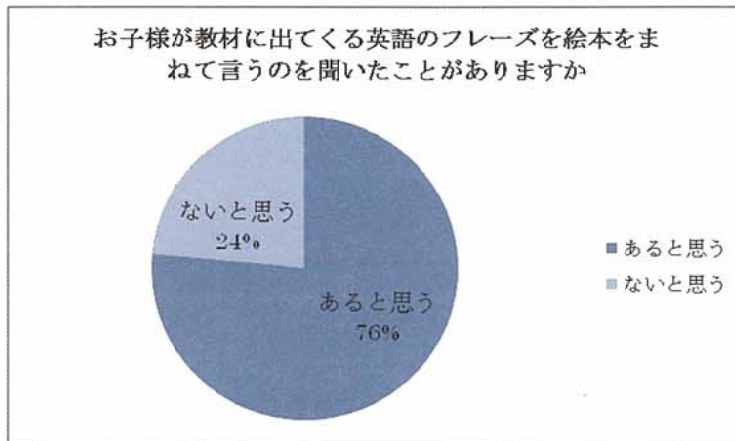




2月に園児の聞き取り調査を行った。[b]と[v]、[p]と[pʰ]の区別については、[v]と[pʰ]を発音する方法を取った。[v]については、速い自動車の音として“vroom”を言わせたところ、約半数の園児は1度で発音できた。残りの内の30%は、発音の仕方を再度説明すれば再現できた。[pʰ]についてはデモンストレーションで行ったように、口の前に紙片をかざし、それを強く吹くように[p]の音を発音させたが、70%の園児が適切な発音をしていた。デモンストレーションで何度も体験していたため、時間がたっていたにもかかわらず印象に残っていたものであろう。今回は音の違いを聞きとれるかの調査は行わなかった。明確に聞きとれるようになるためには、さらに継続的な学習の機会を設ける必要があると考えられるためである。しかしながら、4、5歳児については比較的短時間の学習であっても、日本語にはない音についても正確に再現することが可能であることは観察された。

#### <保護者懇談会>





1月に行った保護者の聞き取り調査では、園児が英語の音に対して興味を持っている様子が見える。年齢が低いほど音に対する順応性が高いと思われるので、遊びを取り入れたりしながら、無意識のうちに多くの英語の音に触れる機会を作ることが望ましいと思われる。

またコメントからは「子供が <th> の発音などに気をつけるようになった」「家族に正しい発音を指導する」など、園児が発音に敏感になっていた様子が見える。

## 2.2 社会の基本ルールやマナーを学ぶ・コミュニケーション能力を豊かにする

10月、11月に行われた、第3回、4回の英語活動がこの「社会の基本ルールやマナーを学ぶ・コミュニケーション能力を豊かにする」というテーマの下に行われた。指導案は次の通りである。

### 第3回

テーマ	体の部分を覚えましょう。
表現	What's this? put back Here he is! eye(s) nose mouth ear(s)



英語活動の流れ	名前を呼んで名札をつけてあげる 基本的な挨拶表現 Hello, Good morning, How are you? (歌) Good Morning
	絵本の読み聞かせ <i>A Teddy Bear</i> :
	表現練習 <導入> 福笑いを使って、顔の部分を英語で言わせる <CD を聞く> <絵本の解説> どんなお話だったか聞く 顔の部分の確認
	異文化理解 <i>Teddy Bear</i> について
	(歌) Good Bye 終わりの挨拶

ゴミ箱にバラバラのパーツとなって捨てられていたくまのぬいぐるみが主人公で、それを拾ってきた新しい持ち主(絵本には姿は登場しないので、余計に読み手の子どもたちと一体化されるよう1人称で語られている) 目、鼻、口、耳、腕、足、尻尾をひとつひとつ元通りにしてもらい、最後はお風呂に入りきれいになって、持ち主とともに大喜び、というストーリーである。単純に体のパーツを英語で言ってみよう、という試みの絵本や歌は多いが、この絵本では特にバラバラになってゴミ箱に捨てられた「かわいそうなくまちゃん」を元通りにする、「ものを大切にする心」(=ECOの精神)に気づいてもらえるような内容をも含んだ絵本であった。付属のCDには、効果音を交えた英語、日本語、歌が入っており、カラオケつきなので覚えたら踊りながら口ずさめるようになっていた。当日は丁度保護者の方が5, 6名参観して下さったので歌を振り付けつきで繰り返し流し、子どもたちとともに元気に歌うことが出来、好評であった。

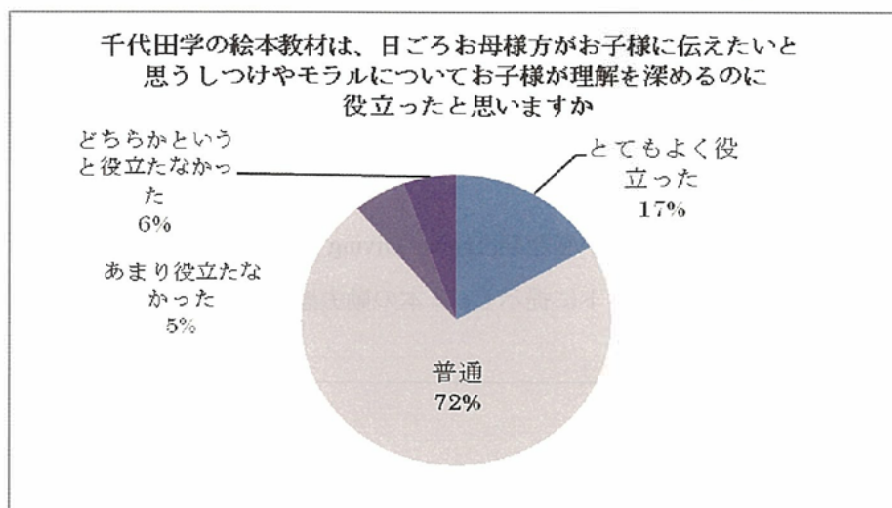
#### 第4回

テーマ	身の回りのことを言ってみよう(家で飼っているペット、自分の好きな持ち物など)
表現	My name is Bob./ We are pals./ I have ~/ How are you?/ I like ~
英語活動の流れ	名前を呼んで名札をつけてあげる

	<p>基本的な挨拶表現</p> <p>Hello, Good morning, How are you?</p> <p>(歌) Good Morning</p>
	<p>絵本の読み聞かせ <i>Pal the Parrot</i></p>
	<p>表現練習</p> <p>&lt;導入&gt;</p> <p>登場人物の紹介 (Bob, Parrot=his pet= Bob)</p> <p>割り箸で作ったペープサート人形——人間の Bob,オウムの Bob の二体で Good Morning, How do you do? How are you? We are pals.を子供たちになじませる。</p> <p>&lt;CD を聞く&gt;</p> <p>どんなおはなしだったか聞く</p> <p>&lt;歌を聴く&gt;</p> <p>みんなで歌い、最後の we are pals.のところは友達同士手をつないで確認。</p>
	<p>異文化理解</p> <p>*デモ授業を行った当日が感謝祭(Thanks Giving Day)に近かったので、その由来を保護者向けプリントに提示し、日本の勤労感謝の日とは少し趣の違うことを記した。</p>
	<p>(歌) Good Bye</p> <p>終わりの挨拶</p>

ペットとしてオウムを手に入れた男の子が、しゃべったことをまねばかりするオウムと時にけんかをしてしまうものの、最後は「やっぱりぼくらは仲良し!」という友情の大切さを教える内容の絵本だった。この本にも CD がついており、目と耳を十分使って絵本を読み、聞くことが出来る。When I say “Good morning” to him, he says “Good Morning” to me. や “I named him Bob” などといった間接話法や、ストーリーの都合上、けんかの場面で “I don’t like Bob” といった否定文が登場するので、子供達にすぐに受け入れられるだろうか心配したが、ストーリー自体はあまり複雑ではないこともあり、すんなり理解が進んだようだった。5歳児では I like ~の言い方を使い、自分の家で飼っているペットや、自分の持っている宝ものなど一人ずつ話すよう促した。

今回、保護者に対して行ったアンケートの結果からは、下に示すようにあまり躰やモラルについて本プロジェクトの教材が役立ったという顕著な反応はでなかった。これは、選んだ絵本があまりストーリーの底に流れるメッセージをあまり押しつけがましく表現するといったタイプのものでなかったことにも因ると考えられる。昨年度などは、基本的な英語のあいさつを教える絵本や、子供が学校や家庭などでやってはいけないことを教える絵本等、躰や社会のモラル等をもっと直接的に表現する教材を使用した。しかし、今年度は、たとえば、先の捨てられていたテディベアの物語にしても、ぬいぐるみを捨てた前の所有者を糾弾したり、物を大切にしようといったより直接的な文章が絵本の中にあるわけではない。しかし、バラバラのぬいぐるみを可哀そうだと思ったり、親切な人に拾われて元通りに再生されてよかったと思うことで、メッセージが伝えられるという構成になっている。実際、保護者からは、「(お子さんが、) テディベアが捨てられていたところで何度も『なんで捨てられたの?』と聞いてきたので『まだまだ捨ててはかわいそうよね』と話していました」といった声が寄せられている。



## 2.3 国際的な視野を広げる・世界に目を向ける

第5回、第6回という各々の学期の最後に「国際的な視野を広げる・世界に目を向ける」をテーマに活動を行った。第5回では、昨年使用した *Have You Seen My Cat?* をとりあげたが、世界地図を使ったアクティビティを強化して、国際的視野を広げるという指導テーマを強調した。指導案は以下のとおりである。

### 第5回

テーマ	世界のいろいろな国や人について理解しましょう
表現	Have you seen my cat? Where is my cat? This is not my cat.
英語活動の流れ	名前を呼んで名札をつけてあげる 基本的な挨拶表現

	<p>Hello, Good morning, How are you?</p> <p>(歌) Good Morning</p>
	<p>絵本の読み聞かせ</p> <p style="text-align: center;"><i>Have you seen my cat?</i></p>
	<p>表現練習</p> <p>地図を貼っておく CD を聞き、話の概要をとらえる。</p> <p>&lt;導入&gt; 地図上に世界の人々を貼りながら、話の確認をする。</p> <p style="text-align: center;">ネコの仲間を確認する</p> <p>&lt;表現練習&gt; (4歳) my cat This is not my cat.</p> <p style="text-align: center;">(5歳) Have you seen my cat?</p> <p style="text-align: center;">Where is my cat?</p>
	<p>異文化理解</p> <p>地図を使って、様々な地域の人々を理解する。</p>
	<p>(歌) Good Bye</p> <p>終わりの挨拶</p>

エリック・カールの *Have You Seen My Cat?* は、少年がいなくなったネコを探して色々な人に聞いて歩く物語。それぞれの場所で出会うのはネコではなく、ライオンやチーターなど似ているが違う動物ばかり。また少年が出会う人々もさまざまであり、彼が世界中を旅していることが示唆される。また巻末には次のような作者の言葉が記されており、世界の多様な人々を受容するというメッセージが隠されていることがわかる。

There are all kinds of cats, but they all belong to the same family.

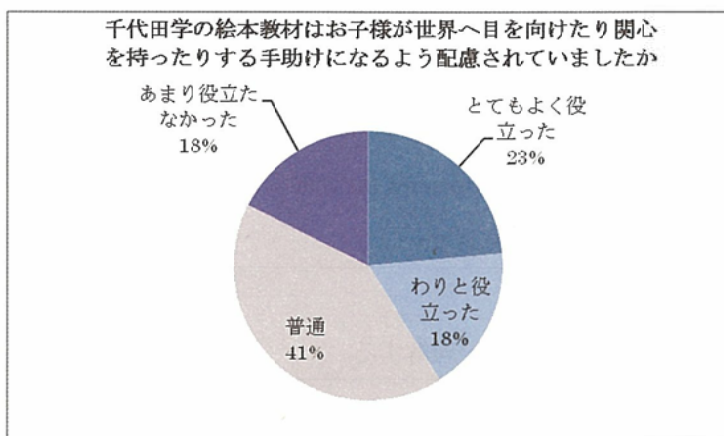
And there are all kinds of people, but they are all part of one family.

(世界にはさまざまなネコがいるが、どれも同じネコ科というファミリーに属している。同じように世界にはさまざまな人々がいるが、みんなひとつのファミリーの一員である。)

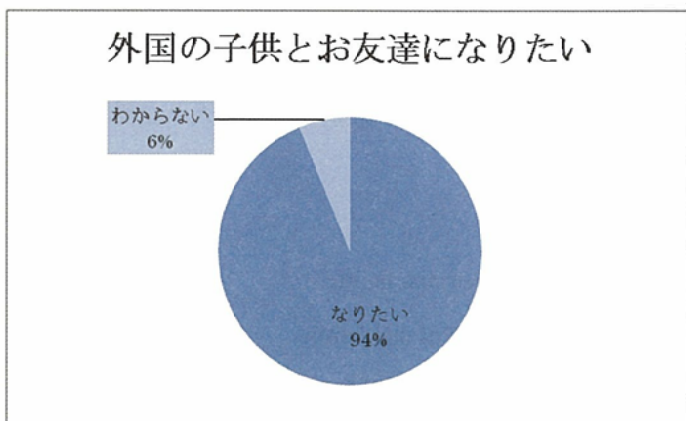
従ってデモ授業では、子供たちが、さまざまな人々、さまざまなネコ科の動物との出会いを通して、実世界にもさまざまな国や文化が存在することを意識させていくきっかけをつくるよう配慮した。オリジナルの世界地図と絵本の登場人物のマグネットを作り、絵本を読み終わった後、園児たちにも世界地図の中でネコ探しをさせるゲームを行い、絵本の世界を立体的に体験できるように、子どもたちを一人一人に地図の前に立たせてこの場面では男の子はネコを訪ねてどこに

いるかしら、と考えるよう促した。4歳児でもエジプト、インドなどの国を「知っているよ!」、と活発に地図上に示そうとしたりする園児がいるのには驚かされた。

保護者のアンケートでは、教材が子供を世界へ目を向けるためといった配慮がされているかどうかという質問に対して、約4割が配慮されていると答えた。やはりここでも、この絵本は表面的にとらえれば、子供のネコ探しのストーリーなので、メッセージが明白になっていない分、回答率が若干低めではある。



しかしながら、園児に対しておこなった面接では、外国の子供と友達になりたいかという質問に対して、94%の子供が友達になりたいと答えている。



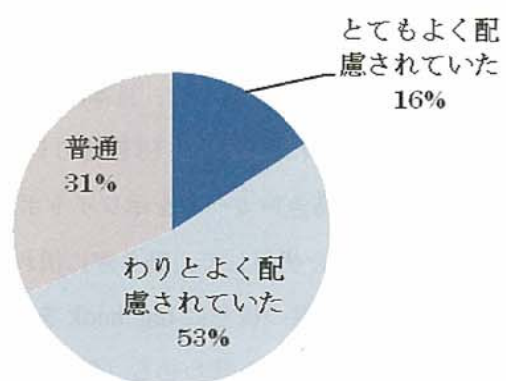
#### 第6回

テーマ	動物のなきごえで遊びましょう
表現	quack- quack, neigh-neigh, croak-croak, meow- meow, woof- woof, , baa- baa
英語活動の流れ	名前を呼んで名札をつけてあげる 基本的な挨拶表現

	<p>Hello, Good morning, How are you?</p> <p>(歌) Good Morning</p>
	<p>絵本の読み聞かせ <i>Brown Bear Brown Bear, What do you see?</i></p>
	<p>表現練習</p> <p>&lt;導入&gt; 鳴き声の CD を聞かせ、日本語の鳴き声を言わせてから、英語の鳴き声を聞かせ、まねさせる。(3回繰り返す)</p> <p>その時に鳴き声カードをホワイトボードに貼る</p> <p>&lt;活動&gt; Big book を使用して、鳴き声に慣れさせる</p> <p>(ゲーム1) 1人の子供の後ろに big book を開いて他の子供に見せ、その動物の鳴き声を言わせる(教師が先導してもよい)</p> <p>本の前の子供は鳴き声を聞いて動物の名前を当てる(日本語でもよい)(ゲーム2) 教師が big book を開いて鳴き声をまねて、1人の子供に近づく。見せられた子供は泣き真似をする。</p>
	<p>異文化理解</p> <p>動物の鳴き声の違いを理解する</p>
	<p>(歌) Good Bye</p> <p>終わりの挨拶</p>

第6回めは、大変よく知られているエリック・カールのブラウンベアーの絵本を使用した。リズムもよく子供たちがすぐに暗唱し繰り返し口にする本である。通常この絵本は、色の名前や動物の名前を教える教材として用いられることが多いが、今回は登場する動物の鳴き声を中心に、園児たちに動物の鳴き声をまねて楽しんでもらう活動を行った。動物の鳴き声は言語によって表現が異なる。従って、日本語と英語における動物の鳴き声の違いを体験することから、異文化に触れるということを目的とした。日本語での鳴き声はよく知っているのも、それらとの違いを楽しむようにデモンストレーションと鳴き声の模倣を行った。その後、指導者が一人の園児の後ろに big book のページを開いて立ち、他の園児たちにその動物の鳴き声を出してもらい、どの動物かを当てるゲームを行った。園児たちは大変楽しみながら活動を行っていた。このように、動物の鳴き声といった身近なことを主題にして、日英語の違いに気づかせるという試みは、音を通しての異文化体験につながっていくと考えられる。保護者からのアンケートにおいても、英語の音を通して、子供が日本語と英語の違いに興味を持つ傾向があることが見て取れると思われる。

千代田学の絵本教材は英語の音を通して、お子様が日本語と英語の違いに興味を持つように配慮されていたと思いますか



### 3 大学と地域の連携による、 次世代育成支援



### 3. 大学と地域の連携による、次世代育成支援

#### 3.1 千代田学主催のイベント

千代田学レクチャーシリーズ VI

「オランダの今日の教育事情」

講師： 野沢悦子 (翻訳家)

場所： 大妻女子大学 A 棟 252 教室

時間： 10:50 - 11:50

平成 18 年度より数えて、今年度で 6 回目となる「千代田学レクチャーシリーズ」は、11 月 9 日に「オランダの今日の教育事情」と題して、当初予定していたオランダ大使館教育部シニア・ディレクターのスマルダー氏に代わり、児童文学翻訳家でオランダの教育事情に詳しい、野坂悦子さんを招いて、オランダの教育システムの特色や日本との違いについて講演して頂いた。講演の様子については以下の通りである。

(大妻女子大学 HP 大妻ニュース 2009 年 11 月 30 日より)

日蘭の通商関係開始 400 周年にあたる今年、短期大学部英文科では、オランダの児童教育に関する講演会を開催しました。当日のレポートが届いたので、ご紹介します。

\*\*\*

11 月 9 日 (月)、千代田キャンパスで「オランダの本と子どもたち」をテーマに講演会を行い、学生・一般あわせて約 70 名が参加しました。これは、千代田区に後援いただいている大妻女子大学短期大学部千代田学プロジェクトに関する講演会です。

講師は、当初予定していたオランダ大使館教育部シニアディレクターの Maria Kuwahara-Smolders さんが急きょ出席できなくなったので、資料のご提供をいただきました。代わりに、高名な児童文学翻訳家であり、オランダの教育事情に通じておられる野坂悦子さんをお招きしました。

まず、オランダの教育についての全般的なお話がありました。

早くから通商国家としてグローバル化の中にあつたオランダでは、何よりも子供を自立した

個人に育てていくことに重点が置かれていることが強調されました。世界が様々な個性を持った人々から成っていることを認めた上で、自らも個性を保ちつつ他者と競争的に協調していかねばならないことを早くから自覚させている一方、失敗に対しては回復をサポートする仕組みを用意していることがオランダの子供の高い幸福感につながっていると指摘され、このことは、観客に驚きと感嘆をもって受けとめられていました。

次いで、日本でもおなじみのキャラクター「ミッフィー」の生みの親であるディック・ブルーナを始めとしたオランダの絵本作家たちが紹介されました。参加者は、絵本の中でも、上記のような子供の自主性を養うという精神が巧みに生かされていることを確認しました。

### 3.2 千代田学協賛イベント

平成 21 年 12 月 12 日

英国大使館合唱団・大妻学院共催

英国大使館合唱団コンサート

「歌の花輪～クリスマスに寄せて～」

場所： 大妻講堂

時間： 18:00 開演

本年度の英国大使館合唱団コンサートは、通常のサマーコンサートではなく、クリスマスコンサートとして、またウォレン駐日英国大使ご夫妻をお迎えして開催された。講演の様子については以下の通りである。

(大妻女子大学 HP 大妻ニュース 2009 年 12 月 15 日より)

英国大使館合唱団によるコンサート「歌の花輪～クリスマスに寄せて～」(英国大使館合唱団・大妻女子大学共催、大妻女子大学人間生活文化研究所・大妻女子大学短期大学部千代田学協賛、財団法人大妻コタカ記念会協力)が12月12日(土)17時から、ウォレン駐日英国大使ご夫妻を迎えて千代田キャンパス大妻講堂で開催されました。英国大使館と千代田キャンパスは徒歩5分の距離にあり、1996年度から訪問見学やシンポジウム、コンサート公演などを通じて交流があります。

開演に先立ち、英国大使館合唱団を代表して中島勇一郎氏から、東京を代表する国際的な合唱団であり、チャリティのための募金を主目的に幅広く活動している団体であることが紹介さ

れました。続いて英国大使館合唱団名誉総裁のディビット・ウォレン駐日英国大使から、英国大使館と大妻学院は立地を生かして様々な形で文化交流を続けていることなど長年にわたる両者の関係について紹介があり、今夜のコンサートでは共にクリスマスの音楽を楽しむことを嬉しく思うと挨拶がありました。

コンサート第一部は、スティーブン・モーガン氏の指揮による、H.L. ハスラー (1564~1612) の「Verbum caro factum est (言葉は肉となり)」に始まり、W.A. モーツァルト (1756~1791) の「Ave Maria (アヴェ マリア)」、B. ブリテン (1902~1983) の「A Hymn to the Virgin (聖母賛歌)」など、ドイツ、オーストリア、イギリス、ロシア、リヒテンシュタイン、イタリアから 11 曲の合唱曲が、混声や独唱を交えて披露されました。

休憩中は、今回の支援先である NPO ファミリーハウスの福川副理事長からのご挨拶を聞いて寄付を寄せたり、ウォレン英国大使夫妻や本学院の花村邦昭理事長と歓談したりする観客で会場やロビーが賑わいました。

第二部では、アイルランド発祥の「Wexford Carol (ウェックスフォード キャロル)」、アニメ「The Snowman (スノーマン)」主題歌の「Walking in the Air (ウォーキング・イン・ジ・エア)」、フランスの舞踏曲が元になったキャロル「Ding Dong! Merrily on High (ディンドン空高く)」など、英国ではお馴染みのクリスマスソング 11 曲が披露され、中には一緒に口ずさんだり、リズムをとったりする観客も見られました。最後に観客からのアンコールに応え「We Wish You A Merry Christmas」を合唱して、19 時過ぎにコンサートが終了しました。

会場には、英国大使館関係者、大妻の学生や卒業生、近隣に在住・在勤の方々に加え、夕方まで開催の大学・短大オープンキャンパスに参加した受験生も来場しており、400 名を超える観客が一足早い英国風のクリスマスコンサートを満喫した冬の夜となりました。



### 3.3 千代田学後援イベント

平成21年6月8日

大妻学院文化交流事業「ハンガリーの文化とオルガンコンサート」

講師： 児玉麻里 (オルガニスト)

オルガニスト： パールウール・ヤーノシュ (リスト音楽大学教授)

場所： 大妻講堂

時間： 18.30 開演

昨年度に引き続き、大妻女子大学人間生活文化研究所の研究プロジェクト「家庭における『異文化意識』育成のための、幼稚園児の保護者を対象とした英語の学び直しプログラム—小学校英語必修化を大学と家庭からサポート」の主催するワークショップや講演会を後援することで、これらのイベントに区民参加への道を開いた。今年度2回行われた「英語で遊ぼう！ 親子で親しむ英語の絵本と歌」では、保護者参加型の幼児英語活動の一環として、千代田区在住の幼稚園児とその保護者の方にご参加いただいて、外国人講師の指導の下、クリスマスやイースターにまつわる絵本を読んだり、英語の歌を親子で楽しんだ。また、学校法人大妻学院とインターナショナル・オルガンフェスティバル・イン・ジャパンが共催した「ハンガリーの文化とオルガンコンサート」を、ハンガリー大使館、ハンガリー政府観光局等と共に後援し、広く千代田区民の皆様にも聴きにきていただいた。

(大妻女子大学 HP 大妻ニュース 2009年6月9日より)

大妻学院文化交流事業「ハンガリーの文化とオルガンコンサート」(学校法人大妻学院、インターナショナル・オルガンフェスティバル・イン・ジャパン共催、ハンガリー大使館、ハンガリー政府観光局、千代田区、大妻女子大学短期大学部千代田学、大妻コタカ記念会後援)が6月8日(月)18時半から、千代田キャンパスの大妻講堂で開催されました。

2009年は、本学院にとって創立者・大妻コタカ生誕125周年にあたり、世界史上では、日本・ハンガリー国交樹立140周年、外交関係回復50周年の年になります(「日本・ドナウ交流年2009」)。本学院ではこれらを記念し、世界的オルガニストの児玉麻里さんと、ハンガリー共和国リスト音楽大学のパールウール・ヤーノシュ教授をお招きして、オルガンコンサートを行った次第です。

第一部では、本日の公演にあわせて、細かいフリルと花の刺繍入りの白いブラウスに、ふっくらと膨らんだ緋色のスカートというハンガリーの民族衣装を着た児玉さんが登場。オースト

リア＝ハンガリー二重帝国時代のハプスブルグ家と音楽の歴史、ハンガリーの風土などについて、ご本人の体験を交えた紹介がありました。また、パイプオルガンについても、数多くあるパイプをクレヨンに例えながら「それぞれ違う音程や音色を組み合わせることによって、様々な音楽表現ができます」と説明し、第二部に引き継ぎました。

第二部は、パールウール・ヤーノシュ教授によるオルガン演奏です。ロベルト・シューマンの「四つのスケッチ (Four Sketches op58)」、リスト・フェレンツの「B-A-C-Hの音名によるプレリュードとフーガ (Prelude and Fugue on B-A-C-H)」の後、ヤーノシュ教授による「日本のメロディによる即興曲 (Improvisation on a Japanese Melody)」と続けました。選ばれた日本の曲は「浜辺の歌」と「大妻学院校歌」。どちらも大胆にアレンジされていましたが、校歌が始まると馴染みの曲調に気づいて、笑顔になる学生や卒業生の姿が見られました。

聴衆は500人以上、アンケートも数多く提出され、「パイプオルガンの生演奏を初めて聞いた」「多彩な音色がとても美しい」「演奏の迫力が満点で、パイプオルガンならではの魅力を楽しみました」「ハンガリーに行ってみたくくなりました」などの感想が寄せられたコンサートになりました。

第一部 解説者 児玉麻里さん

オルガニストで、日本で唯一の国際オルガン祭「インターナショナル・オルガンフェスティバル・イン・ジャパン」の設立者。Newsweek 日本版 (2006年)「世界が認めた日本人女性100人」の一人。

第二部 オルガニスト パールウール・ヤーノシュ教授

1967年ブダペスト生まれ。リスト音楽大学卒。1997年、第2回国際オルガンコンクールでパリ・グランプリ獲得。ブダペストのファソール革新教会の専属オルガニスト。ハンガリー共和国のリスト音楽大学教授。

お二人は、6月5日～11日まで、「インターナショナル・オルガンフェスティバル・イン・ジャパン公演2009」(「日本・ドナウ交流年2009」認定事業)日本ツアーに参加しています。



平成 21 年 11 月 14 日

英語で遊ぼう！ 親子で親しむ英語の絵本と歌

<クリスマスの絵本と歌>

講師： フィリッパ・ウッド （英国大使館書記官夫人）

マーガレット・グラント （朝日カルチャーセンター東京 英語講師）

場所： 大妻女子大学 A 棟 357 教室

時間： 13:00 - 14:00

（大妻女子大学 生活文化研究所ブログ 2009 年 12 月 1 日より）

本学人間生活文化研究所の研究プロジェクトの一環で、「英語で遊ぼう！親子で楽しむ英語の絵本と歌」と題する、幼児のいる家族を対象とした実践形式のセミナーである。本学のゼミ室を利用して、11月14日に行われ、12家族に、幼児教育に関心をもつ学生数名が参加した。講師は、英国大使館広報部長夫人のフィリッパ・ウッドさんと朝日カルチャーセンター講師のマーガレット・グラントさんで、まず今英国で人気のある絵本をリズムカルな英語で読んで頂いたが、英語を知らない子供たちにも、本に込められたメッセージが伝わったことは、その表情から明らかに見てとれた。

クリスマスが近いことで、共にツリーの飾りを作成し、クリスマスソングを歌うことで家族間の親交が深まり、またゲームの中で講師の方からのプレゼントもあって、参加者の方々からは、楽しくも充実感のある午後のひと時を過ごさせて頂いたという、感謝の言葉を頂くことができた。



平成 22 年 2 月 27 日

英語で遊ぼう！ 親子で親しむ英語の絵本と歌

<イースターの絵本と歌>

講師： マーガレット・グラント （朝日カルチャーセンター東京 英語講師）

場所： 大妻女子大学 A 棟 357 教室

時間： 13:30 - 14:30

平成 21 年度 2 回目になる、「英語で遊ぼう！親子で楽しむ英語の絵本と歌」は、前회가クリスマス为主题にしていたのに対し、イースターをテーマとして行われた。参加者たちは、最初に、グラント講師が、イースターの持つ意味や、イギリス、アイルランド、アメリカなどの国ごとの習慣や祝い方の違いなど、クリスマスに比べると日本ではあまりなじみのないイースターについてわかりやすくお話して下さった。次に子供たちも一緒に、イースターの絵本を読んだり、実際にゆで卵にクレヨンで絵を描いたりして、楽しいワークショップとなった。最後に、恒例の卵探しが行われ、子供たちは、あらかじめ教室の中に隠されていた、きれいに彩色されたりシールが貼られた卵を見つけては歓声を上げ、一足早いイースターを体験した。



### 3.4 その他のイベント

平成22年2月19日

駐日オランダ王国大使館見学

講師： マリア・スモルダー （駐日オランダ王国大使館教育部シニア・ディレクター）

場所： 港区芝公園

時間 10:30 - 11:00

本年度は、立体的英語活動と称し、モデル幼稚園の園児たちに、幼稚園や家庭における英語体験だけでなく、さらに一歩進んだ国際交流体験をしてもらうことを考えていた。具体的には、当初、都内に在住する同年齢程度の外国人幼児との交流会を企画しようと考えていたが、セキュリティ等の諸事情もあり、幼稚園児とその保護者による、駐日オランダ大使館訪問という形として、実現することになった。見学の様子については以下の通りである。

(大妻女子大学 HP 大妻ニュース 2010年2月19日より)

大妻女子大学と千代田区は、千代田区発展のために連携協力することを目的とした「千代田区内大学と千代田区の連携協力に関する基本協定」を締結しており、千代田区に関する様々な事象を一つの学問として学ぶ「千代田学」に参加しています。

今年度、短期大学部英文科の井上美沙子教授が千代田区内の幼稚園児と保護者に協力いただいている研究「立体的英語活動モデルの提案と発信－幼児レベルの国際交流をめざして－」では、昨年秋に、オランダの児童教育に関する講演会を開催しました。これをきっかけに、オランダ大使館見学の招待を受けましたので、訪問者による当日の様子をご紹介します。

\*\*\*

2月12日（金）、東京タワーを間近に見上げる、港区芝のオランダ大使館を訪問しました。千代田幼稚園の園児4名（年中3名、年長1名）とのお母様方、妹さん1名、大学側スタッフ4名の総勢13名でした。オランダ大使館は、普段は見学者を受け入れていないのですが、今回は文化部、広報・教育担当のMaria Kuwahara-Smoldersさんのご尽力と、オランダ大使のご高配により特別に（少人数）訪問を許可されました。

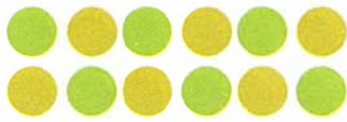


雪もちらつく寒さの中、やや緊張しながら大使館前で記念撮影を行い、いよいよ Maria さんのお迎えで大使館内へ。「ここからは外国（オランダ）よ。“Good Morning! How are you?” とごあいさつしましょうね!」という言葉に、子供たちは一層緊張したようですが、Maria さんのやさしい笑顔と「おはようございます。」という言葉に一安心し、周りをきょろきょろ、足元の芽を出したばかりのたくさんのチューリップを踏まないように冒険を始めました。ほどなく大使夫人に出会い、公邸前で一緒に記念撮影をしていただいた後、大使夫人自らオランダ大使館の歴史のご説明がありました。現在は海も見えない六本木近くの高台にある大使館から、かつてはオランダ船がオランダ国旗をはためかせながら東京湾へ入港するのが眺められたということに、皆びっくりしていました。

大使夫人が Maria さんとオランダ語でお話しになられたので、「ありがとう、はオランダ語でなんていうの？」と尋ね、すぐオランダ語でお礼を言ったりしました。その後、特別に公邸内のお庭の見学をお許しいただくという幸運に恵まれました。ちょっと緊張しながらも、きれいに整えられた日本庭園や中に置かれたオランダのオブジェなどを鑑賞し、庭を抜けて大使館敷地内のプールや、大使館のシンボルである樹齢 100 年以上の雌雄 1 対の銀杏の木などを見学しました。最後に大使館からオランダの絵本などのお土産をいただき、皆大満足で帰りました。

# 付 録

教材・プリント



# A Teddy Bear



## ♪ 今月のおはなし

千代田学第3回 2009.10.28

かわいそうなクマちゃんをごみと一緒に捨てられています！助けてあげましょう。

## ♪ 今月のポイント

からだの名前を英語で言ってみよう！

eye(s) nose mouth ear(s) arm(s) leg(s)

## ♪ 発音のポイント < mouth[θ]>

: 下の図のように歯と歯の間に舌を挟んで息を出す。



その他の th [θ] を含んだ単語

birth day Thank you!

“ Thank you “ は毎日使いますね

## ♪ 親子で楽しく英会話 ~本の表現を使ってみよう~

◎お片づけのときに： Put back **もの** to **場所**, please.

(日本語でもOKです！)

◎どこかに着いたら： Here we are! (園に着いたり、お家に帰ったとき)

◎ものを渡すときに： Here you are.

繰り返し使っているとお子さんも自然に言えるように♪

☆本の最後に、歌と切り取って遊べるクマちゃんが付いています。お楽しみ下さい☆

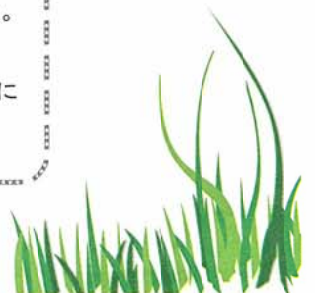
### Teddy Bear の由来

10月27日は Teddy Bear の日です

1902年、瀕死のクマを救ったアメリカのルーズベルト大統領にちなみ、ぬいぐるみメーカーが大統領の名前 (Theodor) の愛称をとって、“Teddy Bear” と名付けたクマを発売。その後、ドイツからアメリカに大量輸入されたクマのぬいぐるみと共に、この名前が広まりました。

10月27日は大統領の誕生日です。

今でも欧米では、小さな子供を一人で寝かせる時に寂しくないように枕元に Teddy Bear を置いてあげたりするそうです。



# Pal the Parrot

千代田学第4回 2009.11.18

## ♪ 今月のおはなし

こんにちは、ぼくはボブ。オウムを飼っているんだよ。オウムは僕の言った事を何でもまねするんだ。それでちょっと困ることもあるけど、ぼくらはやっぱり仲良しさ！

## ♪ 今月のポイント

身の回りのことを言ってみよう。(自己紹介をしてみよう)

How do you do?      My name is ~.      I have ~.      I like ~.

## ♪ 発音のポイント

<parrot> 破裂音の p

日本語の [p] の音よりも強く発音します。

口の前にティッシュペーパーなどをおいて息を吹きかけるようにして発音してみましょう。



## ♪ 親子で楽しく英会話 ~お友達とも話してみよう~

\*お家にいるペットのことを言ってみよう。

I (We) have a cat/ two hamsters, etc. . Its name is ~

\*自分の好きなものを言ってみよう。

I like apples/ roses/ winter/ Christmas (very much).

Do you like ~?



## Thanks Giving Day の由来

(今年は11月26日)

アメリカとカナダの祝日で、アメリカでは11月の第4木曜日になります(カナダは10月第2月曜日)。翌日の金曜日祝日で、4連休となります。普段は離れ離れになっている家族が集まって、七面鳥などのご馳走を食べる習慣で、交通機関やお店が大変混雑します(日本のお盆のようですね)。1623年に始まったとされ、最初は教会で礼拝をし神様に感謝する宗教的な行事だったようです。



# Have you seen my cat?

千代田学第5回 2009.12.2

## ♪ 今月のおはなし

「僕のネコちゃんがどこかにいっちゃったよ。だれか知らない？」  
世界中をまわってネコちゃんを探します。色々なネコのなかまがいますね。  
みんなネコ科だけど、僕のネコは？

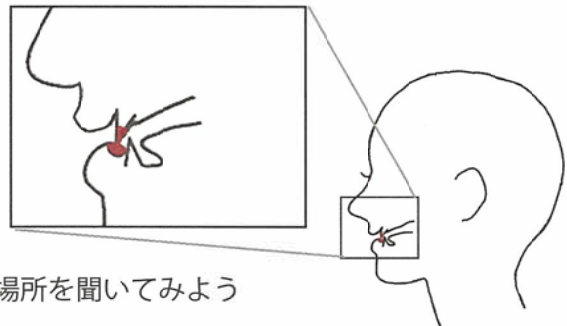
## ♪ 今月のポイント

見たことがあるかどうか聞く・もののある場所を聞く表現  
Have you seen my ~ ?  
Where is my ~ ?

## ♪ 発音のポイント

[v] 下唇に上の前歯をあてて、息を出すようにして発音する

very good/ very much.



## ♪ 親子で楽しく英会話

もののある場所を聞いてみよう

Have you seen my bag/ glasses etc. ? -- It' s/ They are on the desk.  
Where is your bag/ book/ toy etc.?-- It' s in the kitchen / in the box.



### サンタクロースの由来

4世紀ごろのキリスト教の教父「聖ニコラス」に由来するといわれ、オランダ語の呼び方「シンタクラス」が元になっています。「聖ニコラス」は、ある日夜中に貧しさのために娘を嫁がせることのできない家を訪れ、煙突から金貨を投げ入れたそうです。その時暖炉には靴下が下げられていて、投げられた金貨がその中に入り、そのお金のおかげで娘は身売りをせずに済んで、プレゼントを靴下に入れる風習が出来ました。あの赤い洋服はキリスト教の司祭服に由来しているそうです。

# Brown Bear

千代田学第6回 2010.01.13

## ♪ 今月のおはなし

茶色のくまが赤い鳥を見て、赤い鳥は黄色のアヒルを、黄色いアヒルは・・・  
世界の子供達と一緒にみんなもいろいろな動物とお友達になりましょう

## ♪ 今月のポイント

動物のなきごえで遊びましょう

アヒル quack-quack    ウマ neigh-neigh    カエル croak-croak  
ネコ meow-meow    イヌ woof-woof    ヒツジ baa-baa / bleat-bleat

## ♪ 発音のポイント

what do you see?

what の [t] は次の [d] と同じ発音なので消えます。

see は「シー」とならないように気をつけましょう。

## ♪ 親子で楽しく英会話

日本語と英語の声や擬音の違いをくらべて遊んでみましょう



いろいろなものの声や音

動物：	豚 oink-oink	牛 moo-moo*
	コバ hee-haw	鳥 tweet-tweet
	ハト coo-coo*	ハチ buzz
物：	鐘・ベル ding-dong	
	パトカー woo-woo*	
	ノック knock-knock	
	時計 tick-tock	
	咳 cough-cough	
	くしゃみ achoo*	
	水 splash	
	カチャ click	
	痛い！ ouch	

\*<oo> は [u:] と発音